

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

2020年度の普通じゃないスタート ―今年の壮年大会を中止します―

全国壮年会連合 会長 山田誠一



通常であれば、新しい年度心新たにしてやる気を高められて行くところですが、新型コロナウイルス感染拡大で、全ての活動の自粛を促されている状況で、なす術なしというところでしょうか？ 壮年会連合の活動も2～3月の年度末の大切な整え

も出来ず、新年度の役員会・奨学金委員会も5月下旬まで延期して様子を見ているところです。

いま私たちの元気を奪っているのは、普通に礼拝出来ないこと、教会員同志の交わり、話し合いすら出来ない状態です。

さて神さまはどうされようとしているのでしょうか。「今、何が起きているのか」をつぶさに見て、神のメッセージを感じる事が大切だと言っている方もおられます。ちょうどあまり活動が出来ない時期でもありますからじっくり考えてみましょう。私が感じる一つに、「自国第一主義」からくる他者への非難や排除、他者への無関心、このようなことを自省することが必要なのかも知れません。あ

いつが悪い、こいつがいけないというのではなく、あなたはどうか？ということです。しかしあまり自分を責めて落ち込んではいけません。私たちは「神と交信する＝祈る」という特権があります。神は私に今日何をされようとしているのか、「祈って」御言葉に励まされていきたいのです。私たちがとことん落ち込んで困り果てている時にこそ「主」が臨んで下さる。『キリストの力がわたしのうちに宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。コリントⅡ 12:9b』 さあ、元気を出して励まし合っていきましょう！

この原稿を用意している時に、今年の全国壮年大会を担当する関西地方連合の実行委員会から、このコロナ感染の状況の中では十分な準備が出来ないし、8月の状況も見通せないで今年中止したいとの連絡が入りました。役員会としても今の状況から大会の実行は難しいと判断し、壮年大会を中止することにしましたのでお知らせします。なお、大会中止に伴うその他の会議の中止、総会が開けないことへの対応等は2面に記しておりますので参照下さい。

《最近の神学生は、、、》

西南学院大学神学部 博士前期2年 西本詩生（推薦教会 恵泉教会）



神学部のことをお祈りに覚え、ご支援して下さいること心より感謝いたします。

先日久しぶりにお会いした親しい壮年の方に、「最近の神学生は忙しいね」と言われたことを思い出します。楽しい会話の中での何気ない一言でしたが、「もっとゆっくりして話したい」という意味が込められた言葉であったように聞こえました。ゆっくりと話す中で、お互いが迎って来た道筋が見えてきて、より豊かな祈りと歩みにつながる、創造的な力が発揮されると思うのです。お互いの話に耳を傾け、その中で主の御声を求めることは、主イエスが示された共に生きる神の国の広がりのために、必要不可欠なことなのでしょう。しかしながら、近頃の生活を振り返ってみると、あらゆる場面で「ゆっくりと目の前の人と話すこと」が難しいことであると気づくのです。

その要因の一つは神学部生の人数の減少によるものだと考えています。この二十年間の記録を見ますと、西南神学部生（献身者）の人数は20-30人程度でした。2020年度は11名の学生で歩み始め、一桁の学生数になってもおかしくない減少傾向にあります。ですが、人数の増減に関わらず生じる学部の諸活動の働きが続いているのが現状です。今まで通りに活動を続けることで、共に生きるために必要である、「ゆっくりと目の前の人と話すこと」が段々と難しくなっていることに危機感を覚えています。

この現状を踏まえて、神学部学生会の組織改革に向けて動き始めています。今まで続けてきた諸活動の意義を明確にし、知恵を出し合いながら、諸活動の新たな形を模索しています。主イエスが示した共に生きる神の国の広がり求め、「ゆっくりと目の前の人と話すこと」を大切にしつつ、歩んでまいりたいと思います。

北九州地方連合壮年会は2017年度から、諸教会からの依頼を受けて「壮年会ワーク」を始めています。依頼教会に出向いて行き作業をします。その後食事会等の交わりを行い「教会が元気になる！」ことを目指しています。

初年度は、芦屋教会の依頼を受けて「会堂ペンキ塗りワーク」を行いました。壮年会だけでなく青年会、女性会も参加して、遠くは大分からも駆けつけて頂きました。初めての事でありましたが、無事に綺麗に？出来たと思っています。その後みんなでBBQをして交流しました。

2018年度は飯塚教会からの依頼で「牧師館・牧師室壁塗りワーク」を実施しました。残念ながら午後から雨となり完全に出来なくて、申し



訳ない結果となりました。雨のBBQとなりましたが、楽しい交流が出来ました。

2019年度は中間教会からの依頼で「草刈りワーク」を実施しました。大変暑い中の作業となり



大変でしたが、中間教会の方々と一緒に食事をして、ふれあう時間が持てたことをうれしく思います。

このような「壮年会ワーク」ですが、壮年だけではできない事ではありません。青年会・女性会皆様の協力が必要です。これから北九州地方連合全体を巻き込んで奉仕活動ができればと思っています。

みんなで一つの事を成し遂げることで、こんなにも「教会が元気になる！」のかと思われました。この奉仕活動は続けて行きます。

日本バプテスト連盟奨学金を希望される方へ

日本バプテスト連盟奨学金を希望者は「日本バプテスト連盟全国壮年会連合奨学金制度に関する規程」に基づき、下記の要領で申請いただくようお願いいたします。詳細は日本バプテスト連盟全国壮年会連合へお問い合わせください

＜申請期限＞

2021年度入学予定者・・・2020年10月1日(木)(必着)

＜申請書類＞

※ 申請書類及び関連規程は全国壮年会連合ホームページ<http://www.sonen.net>の「ドキュメント」ページからダウンロードしてください。

※ なお、本様式は西南学院大学に提出する書類とは異なり、本奨学金貸与申請専用の様式です。お間違いないようご注意ください

＜問合せ・資料等請求先＞

〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和1-2-4
日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局
Tel/Fax:(048)886-7533(月・水・金 10:00~16:00)
e-mail:sonen@bapren.jp

申請書類	入学予定者
◇西南学院大学神学部・大学院学生奨学金願書	○
◇奨学金申請に関する推薦決議書	○
◇西南学院大学神学部・大学院学生奨学金申請履歴書	○
◇召命・献身決意書(神学部提出のコピーは不可)	○

壮年大会中止に伴うその他の計画の変更と対応について

事務局長 豊永 義典

1面でお知らせしましたように、今年の夏の壮年大会の開催を中止とします。併せて今年度上半期に計画した会議等(役員会、代表社会議等)も中止します。総会も開催出来ないこととなりますが、今総会に提案し皆さんに承認を頂く予定であった各項目について以下のように対応することにしますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

- ・報告関連議案は、昨年までと同様の取扱い。
- ・神学校献金目標額は、昨年承認された2020年度目標額の継続を提案します。
- ・全国壮年会連合活動計画と奨学金委員会の活動計画は、昨年承認された2019-2020年度計画を継続する(新規の活動は行わない)ことを提案します。
- ・2020年度一般会計修正予算及び2021年度予算は、昨年承認された2020年度予算を踏襲することを提案します。奨学金会計も同様。
- ・2021-2022年度奨学金委員長選挙は行なわず、暫定的に現委員長の任期を1年延長することを提案します。
- ・2022年度全国壮年大会担当地方連合と2021年度総会議長については、関西・福岡・北海道地方連合で調整のうえで提案します。

以上の趣旨の議案書を4月末までに全国に送付し、同封する葉書の返信で質問や賛否を問うこととさせていただきます。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務: 月、水、金 10:00~16:00 ☎・fax: 048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp